

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム

# 医療への質マネジメントアプローチ

平成 25 年度最終成果報告

PCAPS 研究会

## PCAPS の実装・臨床分析・社会システム構築への貢献

### プログラム

日時：2014 年 3 月 1 日（土） 10:00～17:00 終了予定

会場：東京大学（本郷キャンパス）農学部 弥生講堂 一条ホール

患者状態適応型パス[PCAPS(ピーキャップス):Patient Condition Adaptive Path System]は、臨床知識の構造化と、知識の再利用を支援します。PCAPS 研究では、医療の質安全保証の実現のために、品質管理工学における標準化とプロセス管理の概念を投入し、医療サービスという無形の対象の臨床プロセスを、可視化、構造化、標準化、IT 化していきました。PCAPS 研究会では、「患者状態適応型」という医療サービスの特性を表現する構造モデルを適用して構造化臨床知識コンテンツを医療の領域毎に開発し、臨床実践における当該知識コンテンツを再利用するための方法論を開発しています。

H25 年度の成果は、①実装による診療場面での活用の方法論、②PCAPS 基本構造と各コンテンツ構造を用いた解析データへの変換と臨床分析、③質評価の方法論と PDCA サイクルの実現に向けたしくみづくり、④診療ガイドラインの活用や評価改善を進める PCAPS 機能の開発、⑤社会システム構築に向けた地域保健医療システム構築への貢献、⑥チーム医療を必要とする新たな複雑系コンテンツの開発、です。

研究メンバーは、PCAPS の社会実装によって、医療の質を享受できる社会にしたいと考えています。本シンポジウムにぜひご参加していただき、意見交換をお願いいたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

PCAPS 研究会 代表：水流聡子

顧問：飯塚悦功

アドバイザー：棟近雅彦

主催：東京大学工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

共催：PCAPS 研究会、QMS-H 研究会、(社)日本品質管理学会 (JSQC) 医療の質・安全部会

後援：PCAPS-IMT コンソーシアム

研究助成：平成 25 年度厚生労働科研第 3 次対がん総合戦略研究事業（若尾班）

平成 25 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業（中山班）

司会：加藤省吾（東京大学）・下野僚子（東京大学）

**午前の部**

10:00-10:10

**開会の挨拶**

飯塚悦功（東京大学）

10:10-10:20

**I：統括報告**

水流聡子（東京大学）

10:20-11:20(各10分)

**II：PCAPS 実装事例**

- ・ 「PCAPS Administrator 導入トライアルの現状と今後の展望」  
井手洋陽(飯塚病院手術部)
- ・ 「久留米大学病院での PCAPS 実装 ～電子カルテ導入と PCAPS 導入準備～」  
下川忠弘(久留米大学病院)
- ・ 「禎心会病院での PCAPS 実装 ～運用方針と HIS との連携形式～」  
伊東敏弘(禎心会病院)
- ・ 「聖マリア病院での PCAPS 実装 ～実稼働報告と今後の計画～」  
荒木昭輝(聖マリア病院)
- ・ 「療養型・回復期病棟の PCAPS 実装」  
進藤晃(大久野病院)
- ・ 「在宅看護の PCAPS 実装」  
山崎潤子(緑が丘訪問看護ステーション)

11:20-12:05(各15分)

**III：PCAPS による臨床分析事例(臨床の可視化)**

- ・ リハビリ:嚥下障害・運動麻痺に対するリハビリ 井手睦(聖マリア病院)
- ・ 小児科:食物アレルギー負荷試験  
藤原優子(慈恵医大附属病院)・箕浦貴則(岩切病院)・本木隆規(慈恵医大第三病院)
- ・ 呼吸器内科:喘息発作・市中肺炎 荻野広和・蝶名林直彦(聖路加国際病院)

~~~~~  
12:05-13:10 昼休み(65分)  
~~~~~

**午後の部**

13:10-14:10

**VI：パネルディスカッション:「がん診療体制の質評価・改善システム」～PDCA サイクルの確立に向けて～**

- ・ パネルリーダー:名取良弘(飯塚病院)
- ・ 調査報告:水流聡子(東京大学)
- ・ パネリスト:飯塚悦功(東京大学)・秋山聖子(東北大学)・羽藤慎二(四国がんセンター)・  
青儀健二郎(四国がんセンター)・吉岡慎一(兵庫県立西宮病院)・小口秀紀(トヨタ記念病院)

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化 (4)』  
 患者状態適応型パス [PCAPS の活用と臨床分析] (日本規格協会) 本体価格：5,500 円  
 水流聡子・飯塚悦功・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著

14:10-15:10(紹介:各8分、ディスカッション:20分)

IV: パネルディスカッション:ガイドラインとPCAPS(ガイドラインの活用と改善)

- ・ パネルリーダー:青儀 健二郎(四国がんセンター)、加藤省吾(東京大学)
- ・ パネリスト:(各領域のガイドライン活用の紹介)
  - 乳がん手術とリンパ浮腫 北村薫(ナグモクリニック福岡)
  - 褥瘡予防・管理ガイドライン 渡邊千登世(聖路加看護大学大学院)
  - 心血管系動脈硬化症管理 盛重邦雄(聖マリア病院)
  - COPD 急性増悪時の薬剤使用法 茂木孝(日本医科大学呼吸ケアクリニック)

15:10-15:40(各10分)

IV: 疾病管理のための地域連携・地域医療システムの設計・評価

- ・ 小児疾患・成長障害を中心とする地域連携・地域医療システムの設計  
本木隆規(慈恵医大第三病院)
- ・ 高齢者の疾病管理システム(認知症)の設計  
水木麻衣子・水流聡子(東京大学)
- ・ がん薬物療法の地域連携  
秋山聖子(東北大学)



休憩(10分)



15:50-16:50(各10分)

VI: 臨床知識の構造化:ポスターセッション(ラウンド形式, 1領域質疑込 10分)

※ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。座長の方・発表者は開始10分前にはお集まりください。

<b>ストリーム I 座長:小口秀紀(トヨタ記念病院)</b>	
・ 看護ナビ:看護知識ナビコンテンツ活用開始1年の結果と課題 井原資子・姫野美佐子(飯塚病院)	
・ 症状別コンテンツの開発と実装 家保美恵子・中山日登美・高江洲亜利沙(禎心会病院)	
・ 栄養:栄養食事コンテンツの作成 道脇幸博(武蔵野赤十字病院)・長谷川由美(新東京病院)	
・ 泌尿器:尿路感染 遠藤勝久(JR 東京総合病院)	
・ リンパ浮腫:初期病期診断の方法 北村薫(ナグモクリニック福岡)・作田裕美(大阪市立大学)・清籐佐知子(四国がんセンター) 廣田彰男(医療法人社団広田内科クリニック)・宇津木久仁子(癌研有明病院)	
<b>ストリーム II 座長:蝶名林直彦(聖路加国際病院)</b>	
・ 呼吸器内科:市中肺炎 千々輪香織・本橋和音・内山真木子(聖路加国際病院)	
・ 服薬指導:喘息・COPDにおける吸入指導 田窪真行・植田恵子(スギ薬局)	
・ 呼吸器内科:COPD増悪時の訪問看護介入 山路聡子(群馬県看護協会)	
・ 呼吸器内科:COPD増悪後のリハビリ介入 長谷川信(群馬大学医学部附属病院)	
・ 在宅酸素:在宅酸素療法の導入・管理 酒井志野(帝人ファーマ)	
<b>ストリーム III 座長:羽藤慎二(四国がんセンター)</b>	
・ リハビリ1:PT, OT領域の取り組み 大塚渉(聖マリア病院)	
・ リハビリ2:ST領域の取り組み 脇坂勇輝(聖マリア病院)	
・ 精神科:電子カルテ導入に伴うPCAPS対応の進捗状況 東川貞男(石川県立高松病院)	
・ 手術:PCAPS眼科手術でのトライアルの現状 藤本さとみ(飯塚病院手術部)	
・ がん質評価指標 太田耕右(東京大学)	

16:50-17:00

VI:おわりに

水流聡子(東京大学)



【シンポジウム会場】

会 場 : 東京大学 (本郷キャンパス) 農学部 弥生講堂 一条ホール  
 研究会メンバー用昼食会場: 弥生講堂 一条ホール内 会議室 (スタッフがご案内いたします)

懇親会会場: 農学部 弥生講堂 一条ホール ロビー

シンポジウム運営組織

代表	水流聡子 (東京大学)	
顧問	飯塚悦功 (東京大学)	
アドバイザー	棟近雅彦 (早稲田大学)	
運営 スタッフ	<PCAPS 事務局> 加藤 省吾 (東京大学) 下野 僚子 (東京大学) 大森 美保 (東京大学) 谷崎 浩一 (東京大学) 佐藤 典子 (東京大学)	<学生スタッフ> 太田 耕右 (東京大学) 小林 翔平 (東京大学) 小田 紘之 (東京大学) 高尾 璃加 (東京大学) 田淵 拓也 (東京大学) 坪根 永 (東京大学)

問い合わせ先:

PCAPS 事務局

E-mail: Office\_PCAPS@umin.ac.jp

TEL: 03-5841-7301 FAX: 03-5841-7276

本研究事業 HP: <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

**注意: カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。**